

【様式第4号】

令和7年度 第3回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 防災部会事務局 会議録	
日時	令和7年8月20日(水) 16:00～17:30
開催場所	地域活動ホームゆめ 食堂・ボランティアルーム
出席者	(ときわ虹の会) 誉田氏 加藤氏 (たちばな会) 中戸川氏 (区社協) 村瀬氏 (夢21) 遠藤氏 (保土ヶ谷区役所) 小堀氏 (ほどがや希望の家) 早坂氏 島田氏 (コペルプラス天王町教室) 八木沢氏 (基幹相談) 福田 計10名
欠席者	(いわまワークス) 戸村氏 (保土ヶ谷区役所) 岩垂氏
開催形態	公開(傍聴人: 名)・ <u>非公開</u>
議 題	① たちばな会防災研修について 日時: 9月16日(火) 区社協3階多目的室 13:30～16:00 多目的ホール (集合 13:00) ・研修に向けての資料確認 パワーポイント(案) SOS チラシ(案) 島田氏より パワポの内容は関心のあるところを作った。 早坂氏より SOS チラシの電話番号の見本は誤解されないように作成 (質疑や意見交換) 障がい者の名簿やデータは? 区に災害時要援護者名簿はあるが、内容が更新されているか最新か詳細は不明。また、名簿は地域防災拠点に渡すがセンターに渡せるかは難しいと思われる。在宅の方には、発災時に訪問して確認する必要がある。 中戸川氏: 浜家連にも伝えて抜けていく 人的なつながりが必要。ポスターの方が良い。センターを事前にインプットしてもらい、発災時に連絡できるようにするのが良いのではないか 誉田氏: 文字が多いとわかりにくい、年配者が多いので過去の災害を知っている方々だから受け入れてもらえるのではないか。字より写真 ビブス 旗 〈当日の流れ〉 ビブス 旗 SOSチラシを紹介 パワポで講座 当日の資料 25部用意 参加予定者は過去の実績から20人くらい 社協から防災品をたちばな会に提供予定 トイレ、ラジオ、転倒防止用具等 去年も提供受け好評だった。各自で購入につながった。 〈今後の予定〉 チラシの配布方法: 自治会の掲示板 事業所に貼る事を検討していく。 つながりのない人はどうするか? → たちばな会員などに知人などへの配布を頼んでみるか? ② 10月のセンター開設訓練について ・マニュアルを見ながら訓練内容の確認 机上の訓練 読み合わせ ③ センターHP に作成について (具体的に、誰が、どのようなデザインの HP (案) を作成するか?) 自立協のHP に掲載 発災したときにQRコードを読めば、飛ぶようになる予定

【様式第4号】

	④ 研修の実施について 防災部会でも能登の方からの話を聞く研修の企画をしていたが、他団体（TEAM3）にて研修の企画している。内容は、実際に災害が起きて BCP が機能したか？能登能登半島地震支援センターの方からの話などを検討している。 能登の物販での支援活動の予定 ※TEAM3とは（横浜市作業所等連絡会、横浜市活動ホーム連絡会、横浜市グループホーム連絡会の有志が集まり、被災地の障害のある方や団体等の支援をしている団体） ・TEAM3 のメンバーが能登に支援にいったが、過去の災害と変わらず、災害により障害のある方など弱い部分が明らかになった事やBCPが活かせなかったなどの話を聞いた。 トイレ問題が課題になっており、などに多くの人が興味を持っている。 ・防災部会としては、能登の被災地の地形が保土ヶ谷に似ている事や、障がい者、当事者家族（聴覚、知的、精神など障害種別による具体的な話）の経験を聞きたい。 →（自）防災部会として能登半島地震支援センターの方から話を聞ける機会を設ける事にした。 ⑤ 備品の購入について 防災カタログ コーナンにおいてあるので参考にリストを作成 金額的には これから、物品の選定 役所が購入し贈与 年度内に購入 保管場所→基幹相談支援センター内 棚を購入して保管予定 現状のスペースで置ける棚は基幹相談支援センターで検討する その他 ・被災地障がい者支援センターの総会を実施し役員の改選を行う。 ・区民まつりの区のテントにてセンターの広報を行う予定。
次回の日程 防災部会 2025 年 10 月 15 日（水）16:00～17:30/ゆめボランティアルーム	